

第 33 期（2026 年度）事業計画書

（2026 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日まで）

1. 磁気健康科学に関する基礎及び応用研究等に関する助成

（定款第4条第1項第1号関係）

第33回磁気健康科学研究助成について、以下の研究分野へ助成を行う。

- （1）基礎研究。例えば、弱磁場から超強磁場までの磁場の生体への作用に関する基礎研究を行う国内外研究機関等に対して助成を行う。
- （2）応用研究。例えば、家庭用磁気治療器等を含む磁気の医療への応用研究を行う国内外研究機関等に対して助成を行う。
- （3）指定テーマ研究。研究助成金応募要領に記載の研究を行う国内外研究機関等に対して助成を行う。

助成研究の結果は、研究助成成果報告書として発行する。

2. 磁気健康科学に関する技術動向等の調査及び研究に対する助成

（定款第4条第1項第1号関係）

磁気健康科学に関する技術動向等の調査及び研究を行う国内外研究機関等に対して助成を行う。

3. 大学院生・研究機関在籍者に対する留学助成

（定款第4条第1項第2号関係）

将来に渡って社会貢献が期待される最先端分野において、海外での学問や研究に対する留学助成「第 7 回渡邊利三国際奨学金事業」を行う。

4. 磁気健康科学に関する情報の収集及び提供

（定款第4条第1項第3号関係）

- （1）磁気健康科学に関する技術動向等について情報の収集を行う。
- （2）本財団の活動、関係情報等を取りまとめ、刊行物を発行する。

5. 磁気健康科学に関する普及及び啓発

（定款第4条第1項第4号関係）

- （1）本年 6 月に実施する合同助成金授与式において、有識者による講演を行い、助成金申請者の増大につなげる。
- （2）磁気研究に関わる国際学会大会の日本開催協賛を通じ、公益助成事業の拡大を図る。